

APEK-関西フランス学院から来所

2013年5月30日の午前、京都にある APEK-関西フランス学院の生徒と教師等 33 名が日本の災害の現状とそれへの防災対策について学ぶため、防災研究所に来所しました。

防災研究所副所長 多々納裕一教授からの歓迎の挨拶のあと、社会防災研究部門の COTTON, Fabrice Pierre 客員教授がフランス語で日本の地震対策などについて講義の後、防災ミュージアムで体験学習を行いました。

生徒らは、地震がおこる地域の仕組み、日本の地震対策などに強い関心を持って学習していました。

